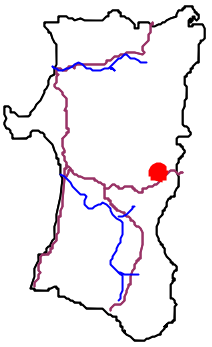
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　八幡平山系直轄火山砂防事業　秋田駒ヶ岳火山防災ステーション（直轄）
秋田県仙北郡田沢湖町）

事業着手：平成１６年度	完成・供用の目標年度：平成１７年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

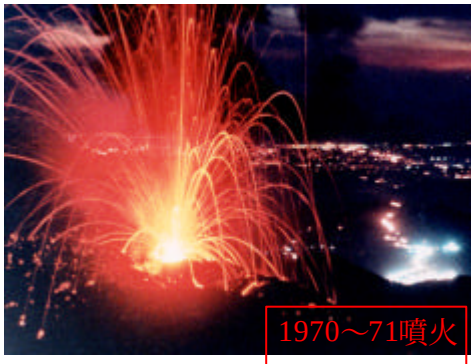
秋田駒ヶ岳は、昭和45年 9月に噴出物総量が約170万㎥にも及ぶ噴火を記録している活火山です。

田沢湖高原周辺には、年間約 90万人もの観光客が訪れており、麓で暮らす人々や観光客の避難や立入制限に係る火山の監視活動は重要なものであり、監視を担う火山防災ステーションは必要不可欠です。また、施設は非常時における工事関係者の避難場所としても重要な役割を担います。

「事業の概要」

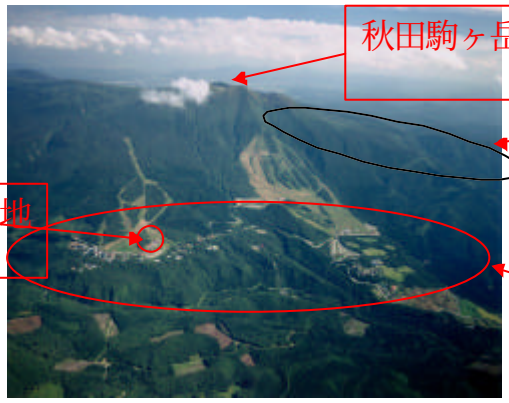
秋田県（駒ヶ岳情報センター）及び田沢湖町（自然ふれあい温泉館（仮称））と連携して、非常時の対応は勿論、監視TVや火山防災資料等の整備により、火山防災意識の啓発に資することとしています。

○床面積A=315㎡



南部カルデラ↓





平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：120百万円
○秋田県（駒ヶ岳情報センター）及び田沢湖町（自然ふれあい温泉館（仮称））とともに秋田駒ヶ岳火山防災ステーションの完成を図ります。

事　業　効　果

○ステーションの完成により監視活動が行われ、火山情報の詳細なデータの提供が可能となり、麓の住民や観光客への避難や立ち入り制限に役立ちます。また、工事関係者の安全確保にも資するものです。